

令和3年度（2021年度）
第2回北海道政策評価委員会
会 議 録

日 時：令和3年（2021年）6月3日（木） 11:20～11:50
場 所：リモート開催のため任意の場所
（事務局：北海道第二水産ビル4階 4F会議室）

【出席者】

区 分	氏 名	所 属 団 体 等
会 長	石井 吉春	北海道大学客員教授
副会長	内田 賢悦	北海道大学大学院工学研究院教授
委 員	大賀 京子	北海道教育大学教育学部札幌校准教授
委 員	葛西 さとみ	行政書士カサイ・オフィス
委 員	柏木 淳一	北海道大学大学院農学研究院講師
委 員	嘉藤 裕一	公募委員
委 員	厚井 高志	北海道大学広域複合災害研究センター准教授
委 員	武岡 明子	札幌大学地域共創学群教授
委 員	千葉 智	千葉智公認会計士事務所所長
委 員	中津川 誠	室蘭工業大学大学院工学研究科教授
委 員	中前 千佳	(一社)北海道開発技術センター主任研究員
委 員	水島 淳恵	小樽商科大学商学部経済学科教授
委 員	村上 愛	北海学園大学法学部法律学科教授
委 員	村上 裕一	北海道大学大学院公共政策学連携研究部准教授

【事務局(北海道)】

北海道総合政策部計画局計画局長

上田 晃弘

北海道総合政策部計画局計画推進課長

川村 秀明

ほか

1 開 会

2 議 事

(1) 令和2年度政策評価（公共事業評価）の結果に関する報告（案）

（事務局より資料1～4に基づき説明。）

【内田副会長】

（公共事業評価専門委員会における主な審議内容について追加説明）

- ・ 公共事業評価専門委員会については、5月20日に第1回、本委員会前に第2回を開催し、事前評価の対象とした42地区のうち、41地区を審議した。その他1地区の治水ダム建設事業費（甘水ダム（仮称））については、国との協議が必要との理由により先送りすることとした。
- ・ 専門委員会では、これら41地区を対象に委員全員でヒアリングを実施する全員評価地区2地区と、各委員が分担してヒアリングを実施する委員担当地区39地区を決定し、4月中旬～下旬にかけてヒアリングを行った。
- ・ 例年は全員評価地区や一部の委員担当地区で現地調査を行っているが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、昨年度に続き、今年度も全ての地区で現地調査を見合わせた。
- ・ 第1回と第2回の専門委員会では、ヒアリングを踏まえ各評価対象地区の論点を明確にし、事業の必要性、事業内容等の適切性、事業効果といった評価の視点を念頭に、厳格に審議を行った。
- ・ 審議の結果、事前評価を行った41地区全てにおいて事業の「要望を行うことは妥当」と判断したが、整理番号18「道営土地改良事業費－川西中央2－1地区」については、専門委員会として意見を付すこととした。
- ・ 当該事業は、畑地かんがいとして用水路や末端散水施設を整備するものであるが、約半分の末端散水施設については、農家自身の対応による営農資材として整備されることになっている。その費用は農家自身が負担することとなっているが、導入時期等が不明確なまま便益が計上されている問題が指摘された。
- ・ そのため、農家による営農資材の整備が完了しないと適切な効果が出ないと判断し、「畑地かんがいの末端散水施設のうち各農家で導入する営農資材について、算定した事業効果が適切に発現するよう、定期的に導入状況を確認し、公表すること。」と意見を付した。
- ・ その他、第1回と第2回の専門委員会での発言として、整理番号16「道営土地改良事業費－端野協和川向地区」については、当該事業は、排水路の整備が主な事業内容となっており、排水路の流量計算において、降った雨がその排水路に流れてくる領域（集水域）を決めると流量を設定できるが、その設定根拠が不明確な部分があり、適切に示すようにと意見があった。
- ・ 審議においては、専門家が現地を見て判断したとの説明に対して、最終的に全ての委員が信頼し、要望を行うことは妥当と判断したものの、客観的な証拠となる資料を準備するようにと意見があった。

- ・ 整理番号3番「道営土地改良事業費－東納内2地区」の審議では、アウトカム指標に用いている担い手農地利用集積率の算定が曖昧なため、実効性のあるアウトカム指標を検討すること、との発言があった。
- ・ 整理番号35、整理番号36、整理番号41の浜中町の「漁港海岸保全事業費」、「海岸高潮対策費」の審議では、事業期間を現地の施工可能量から決定するのではなく、事業の必要性や緊急性を鑑みて、少しでも早く機能が発揮されるよう細かい工程を基に決定すること、との発言があった。
- ・ 公共事業評価専門委員会の審議経過等については、以上。

【石井会長】

- ・ 公共事業評価専門委員会においては、内田副会長からの説明にもあったとおり、様々な論点からしっかりと議論し、評価を行ったと感じており、引き続き、お願いしたい。

《その他意見等なし》

- ・ 意見がなければ、令和2年度政策評価（公共事業評価）の結果に関する報告については、案のとおり了承することよろしいか。

《異議等なし》

3 その他

(1) 令和3年度政策評価（基本評価）において評価対象とする「政策の柱」及び委員の担当について（報告）

（事務局より参考資料1に基づき説明。）

【石井会長】

- ・ 「政策の柱」を対象として行う評価については、初年度の今年は、各委員の希望を聞いた上で、3年で一巡するように7つの政策の柱を選定し、分担を決めたところ。
- ・ 委員の皆様におかれては苦勞もあるかと思うが、今年度は手法も含めて決めながら、形にとらわれず進めることになるかと思うので、よろしく願います。
- ・ また、今後のスケジュールについては、参考資料2のとおり進めていくことになるかと思うので、よろしく願います。
- ・ その他、特にご発言がなければ本日の委員会は閉会とさせていただきます。

《その他意見等なし》

4 閉会